

Plain Living



High Thinking

英米文学科同窓会第 38 回セミナー（英米文学科共催）

「AI 時代になっても英語を学ぶ楽しみ」

講師 町田 章先生（日本大学教授）



1970 年、群馬県草津温泉生まれ。成蹊大学経済学部卒業後、青山学院大学文学部英米文学科学士編入。青山学院大学文学研究科博士前期課程修了。大阪大学文学研究科博士後期課程単位取得退学。箕面学園高等学校、長野県短期大学、広島大学を経て、現職。2017 年に広島大学教育賞受賞。専門は英語学、認知言語学。著書に『AI 時代になぜ英語を学ぶのか』文春新書、2025 年。

『AI 時代に言語学の意味はあるのか？—認知文法の思考法—』ひつじ書房、2023 年。『認知統語論』（共著）くろしお出版、『意味論・語用論と言語学諸分野とのインターフェイス』（共著）開拓社、2021 年、『ことばの不思議の国』（共著）丸善出版、2020 年など。

これまで、「英語といえばコミュニケーション」と言われるほど、英語によるコミュニケーションの重要性が強調されてきました。グローバル社会において、日本語を話さない人々とどのように意思疎通を図るかが、重要な課題だったからです。ところが、生成 AI の急速な発展に伴い、こうした状況は大きく変わりつつあります。生成 AI によって、言語の壁が取り払われる可能性が生まれているからです。もし英語を学ぶ理由がコミュニケーションだけだとすれば、苦勞して英語を学ぶ必要性は薄れつつあるともいえるでしょう。

このような現状を踏まえ、本セミナーでは、外国語学習が本来持つ意義について、認知言語学の立場から考えていきます。もちろん、コミュニケーションは言語が持つ重要な機能の一つです。しかし、言語にはそれ以外にも重要な役割があります。とりわけ、言語と文化、言語と思考の深い関係を学ぶことには、異文化への理解を深めると同時に、自己理解にもつながるといえる、外国語学習ならではの意義があります。

本セミナーでは、言語は人間が世界を認識するための「窓」とであるという認知言語学の立場から、生成 AI の時代にも決して失われることのない外国語学習の意義と楽しさについて、皆さんと一緒に考えたいと思います。（講師）

英語学習は必要なの？！

日時: 2026 年 10 月 10 日、11 月 7 日、12 月 5 日(各土曜日) 14:00～16:00（最終回終了後に茶話会を予定）

会場: 短大北校舎 1 階 N103 教室、11 月 7 日は 17306 教室(17 号館 3 階)

会費: 維持会員 3,000 円、非維持会員 4,000 円（現役学生は無料）

申込方法: 下記の英米文学科同窓会ホームページ掲載の「参加申込フォーム」より **2026 年 9 月 25 日(金)まで**にお申し込みください。

* パソコン等を使用されない方は裏面の FAX 用紙にご記入の上、送信をお願いいたします。

問い合わせ先: 青山学院大学英米文学科同窓会

E-mail aogaku.eibun.alumni2020@gmail.com

FAX 03-3409-8975(大学部会事務局内)

英米文学科同窓会 HP: <https://www.alumni-aoyamagakuin.jp/englishdept/>



英米文学科同窓会 HP 参加申込フォーム